

# 2019年度 他施設新人看護職員研修 終了報告

看護職キャリア支援職場適応支援担当  
菊地美登里

4月から7月にかけて実施しました4回の研修が終了しました。今年度は4施設から17名の参加がありました。研修の目標は、単に看護技術ができることではなく、根拠に基づく看護技術の習得とアセスメントの重要性を理解することです。

今年度の研修項目は、次のような内容でした。

- 1回目：末梢点滴静脈注射、皮下注射、筋肉注射
- 2回目：吸引、輸液ポンプ・シリンジポンプ、経尿道的膀胱留置カテーテル挿入
- 3回目：救命救急処置、インスリン療法、ポジショニングと体位変換
- 4回目：褥瘡の予防、摂食嚥下障害看護、心電図装着時の看護、気管挿管の介助

1・2回目は基礎看護技術を中心に看護職キャリア支援担当が、3・4回目は認定看護師・専門看護師が講義や演習を担当しました。

演習は1グループ3人の少人数で、疑問点について話し合い振り返りながら進め、研修者の皆さんは積極的に取り組んで下さいました。



研修終了後のアンケートでは、「基本を学ぶことができた」「根拠をもって実施することの大切さがわかった」などが述べられていました。また、「業務より先に研修があったことで学習になった」「何となく知っていることが多かったが確かな知識が増えた」「研修で学んだことが日々の業務で活かされていると感じる」など、嬉しい感想が多くありました。研修者のみなさんが、明日からの実践を意識し研修を終えることができたことで、研修のねらいは達成できたと思います。

この研修はH22年から実施し、これまで延べ160名の参加がありました。各施設から、先輩看護師の方の参加をお願いし、自施設において混乱がないように研修状況を見ていただきました。以前に新人看護師として受講された方が、今回先輩看護師として参加下さったことも嬉しいことでした。

研修本来の目的は、共に学び地域の看護実践力を高めることにあります。

私たちにとっても他施設から学ぶよい機会になっています。今後も、一つでも多くの施設に参加いただき、実りある研修となるように検討し継続したいと考えています。